

学校関係者評価報告書

(愛媛県立西条高等学校)

学校番号 (9)

評価実施日	平成30年 3月 22日 (木)		
委員	氏名	所属等	備考
	年森 恭子	学校評議員	
	木村留里子	西条市立西条西中学校長	
	曾我部保次	保護者代表、PTA会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 国際文理科単独募集について 国際文理科の単独募集に向け、各中学校を回って説明を行った成果が出て、高倍率になったと思う。学校の説明が功を奏したと思う。 西条地区の中学生の他地域への流出について、昨年度までは100名程度いたのが、今年度は60名程度になったことで、流出に少し歯止めがかかった。今後も頑張りたい。</p> <p>今年度の高校入試では、定員を満たしていない学校が多い中、西条高校では定員を満たすことができたことは、大いに評価できる。</p> <p>(2) 特色のある取組について オンライン英会話は、独自の取組として中学生も注目している。 ホームページを毎日更新しており、行事や部活動など生徒の学校での様子がよく分かり、学校の可視化が高まった。</p> <p>(3) 進路指導について 昨年度と比べて1学級減にもかかわらず、昨年度以上の進学実績を上げており、よく努力している。 進学にかかる費用について、保護者説明会を開いてはどうか。</p> <p>(4) 商業科の取組について 商業科の課題研究は、発表がレベルアップしてきている。プレゼンテーション能力の向上が期待できる。新聞に掲載された件数も多く、このような体験学習の取組は、生徒募集に効果的である。</p> <p>(5) 定時制の取組について 勉強する機会のなかった生徒を手厚く指導してもらっており、感謝したい。部活動も頑張っていると思う。 一定数の入学生を確保する必要がある。更に情報発信に努めてもらいたい。</p>	<p>国際文理科だけでなく、普通科・商業科の魅力についてもアピールしていく。国際文理科については、特に、理数科について理解を深めてもらうよう工夫したい。</p> <p>西条地区外の学校へ進学する生徒数を少しでも減らすため、校外での保護者説明会や、中学生向けの説明会を更に充実させる。特に中学1・2年生に対する説明会を実施し、早い段階から西条高校に興味を持ってもらうようPRしていく。</p> <p>来年度からは、オンライン英会話を授業に取り入れることとしている。 引き続き学校ホームページの充実を図る。特に英語のページを拡充し、世界に向けて西条高校を発信していく。 なお、課題研究で地域課題に全生徒が取り組むSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に現在申請中である。</p> <p>新しい大学入試制度について、新高1生から計画的に指導を行えるよう、情報収集を進める。 進学費用を含め、保護者説明会で提供する情報を更に充実させる。</p> <p>課題研究の実施について、西条市、地域産業、市民諸団体はもとより、大学や専門の研究機関との連携・協力を拡大していく。</p> <p>中学校や適応指導教室への訪問回数を増やし、一人でも多くの中学生に関心を持ってもらう。また、進路の実績を上げる努力を継続していく。</p>